

フロンティア閉校のお知らせ

フロンティア進学ゼミは 2024 年 3 月末をもちまして、教室を閉めることに致しました。

生徒のみなさん、保護者の皆さん、地域に方々にはこの 17 年間、本当にお世話になりました。皆様の支えがあったからこれまでやってこれてきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

これから、少し長くはなりますが、閉校するにいたった経緯・理由、今後のこと（閉校まで）についてお話ししたいと思います。

■閉校するにいたった経緯・理由

経営的なお話になりますが、現在在籍数が 70 名を超えていますが、そのうち約 40 名が中 3 生です。事業の柱となる中 2，中 1 が各 10 名程度しかおらず、現中 3 が卒業すると、在籍生徒数が激減します。この人数では損益分岐点には到底及ばず、今後、在籍数が増えなければ、毎月赤字を累積させることが予想されます。17 年もやってきた中で、幾多も経営危機的な状況は乗り越えてきました。そうした経験則からすると、いま置かれている状況が塾運営を継続していく上で、相当深刻であると言わざるを得ません。実はこの事態はすでに 2 年前から予想しておりました。潮目の変化を感じた私たちは、何とかこの状況を打開しようとさまざまな施策を行って参りましたが、現中 2 は中 1 の 4 月在籍時 9 名から 12 名、現中 1 は 4 月在籍 9 名から 11 名という実情です。例年実績の 40%~50%です。当たり前ですが、私塾である以上、在籍数の確保は死活問題です。過去の増え方を見るに、来年度 1 年で劇的に人数が増えるとは考えにくく、年度途中で閉校という事態を迎えるよりは、年度の切り替わりのタイミングでクローズさせた方が、在籍する皆さんにも最小限の迷惑で済むだろうという判断しました。

生徒数を追いかけると「私たちが本来作りたかった塾」からどんどん遠ざかることになります。子どもたちへの負荷を減らし、叱らず、楽しくやれば幾分子どもたちは来てくれるかもしれません。塾は民業だから、集客できてナンボという考えもありますが、私たちの志向した塾は「成績を伸ばし、努力することの尊さを実感できる場を作る」ということです。成績を伸ばすにはつらい思いをしなければいけない場面もあるでしょうし、我慢しなければいけない場面もあるでしょう。それを乗り越えた先に、自信が身につき、生きていく力が育まれたらいいなという思いが根底にありました。ですから、生徒数を気にしなくても塾が運営できる状態が理想であり、そういう状態を長年かけて作り上げてきました。規模で誇らず、細々とでも存在感がある塾を目指してきました。

特に広告宣伝にコストをさかすとも紹介だけで人が集まってきてくれたことにより、教務に専念することができました。成績という形で生徒や保護者に還元できるという好循環が生まれ、そこからまた新しい生徒さんを指導する機会をいただける。幸いにして 2 年くらい前まではそうした流れに乗っていました。したがって、生徒数が増えなかったということは、私たちの指導が現状通塾して下さっている皆さんに納得のいく形で還元できていないという何よりの証左であると私は受け止めています。

外部環境の変化もあります。少子化が進み、高校受験を取り巻く環境も大きく変化しています。すでに四

ツ葉や中央中等などを進路選択する小学生も多くなりました。高校受験の倍率も軒並み下がって来ています。そんな中で、高校受験に関してはいけるところにいければ良いという風潮も以前に増して強くなっている気がします。家庭で自立学習できるコンテンツもコロナ以降充実してきています。夜、クラブ活動をする中学生も増えてきている印象です。曜日が固定されている集団タイプの高校受験塾は確実に選ばれにくくなってきています。

こうした外部の流れなども考えに入れた上で、経営状況を好転させる材料を自身で見つけることができずじまらなりました。無理に塾を続けて新年度をスタートさせ、最終的に資金がショートする事態を迎えれば、保護者様、生徒の皆さん、従業員、取引先、自身の家族と迷惑を及ぼす範囲・影響がより大きくなるのが予想されます。こうした迷惑をかけずに終わらせられるタイミングがいまだだったということです。

■さいごに

現在、在籍している皆さんには、このようなご報告になり、本当に申し訳ありません。あわせて今まで一緒に過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。保護者の方々におかれましては、日々の送迎などご負担をかけることも多々あったと思いますが、ご理解・ご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

これから私たちを待ち受ける道は厳しいものかもしれませんが、子どもたちの範になるよう、前を向いて生きて参りたいと思います。また何かのご縁があるかもしれません。その節はよろしく願い申し上げます。

それから、フロンティアを巣立っていた卒塾生のみなさん。皆さんの思い出の場所を守り切れずにごめんなさい。卒業した後も節目節目で顔を出してくれ、頑張っている近況報告を聞くのが楽しみでした。そして励みでもありました。ホームページに掲載した合格体験記は今後も残せる方向で考えます。フロンティアという場所はなくなってしまいますが、多感な時期に切磋琢磨したこの塾での思い出を皆さんの心の片隅にしまっておいてくれたら嬉しいです。そして、その心の片隅の記憶が、先々何か高い壁にぶちあたったとき、「あのフロンティアの地獄のような日々に比べれば…」と乗り越える原動力になってくれたらいいなと思います（実際この塾はさほど地獄じゃないと思うんですがね笑）。

いままで本当に、本当にありがとうございました。

2024年1月

フロンティア進学ゼミ

塾長 峯岸 武司

